
第 13 回グッドライフアワード サステナブルデザイン賞を受賞
ー民間最大級の森林を未来へつなぐ・サステナブル観光とゼロカーボン蒸溜所の挑戦ー

特種東海製紙グループの十山株式会社（本社 静岡県静岡市葵区、代表取締役 鈴木康平）が、環境省が主催する「第 13 回グッドライフアワード」において、サステナブルデザイン賞を受賞したことをお知らせします。

本受賞は、当社が保有する日本最大級となる約 24,430ha の民有林を基盤に、森林保全・観光・ウイスキー造り・カーボンオフセットを統合した独自のサステナブルモデルが高く評価されたものです。

■受賞対象となった取り組み

当社は、100 年以上にわたり森林保全を継続してきた歴史を持ち、近年はその森林を舞台に「持続可能な観光」と「ゼロカーボン蒸溜所」を融合した、新たな地域共創モデルを推進しています。

- 森林保全とゼロカーボン設計による CO2 削減と生物多様性保全の両立
- 森・水・食材・アロマなど地域資源を総合的に活用する企画
- 地域料理人・管理栄養士・林業パートナーとの協働による地域共創
- ウイスキー造りの副産物の資源としての再利用を進め、廃棄削減に挑戦
- 再エネと J-クレジットを組み合わせたゼロカーボン運営

これらの取り組みが、「普及可能性の高い持続可能なデザインモデル」として評価されました。

■実績と今後の展望

1895 年の井川山林取得依頼、当社は 100 年以上にわたり森林保全を継続し、年間約 1,410t の J-クレジット創出を実現しています。これを活用し、二軒小屋ロッヂと井川蒸溜所のゼロカーボン運営を実現しました。また、酒造副産物の再資源化による循環型デザインの推進、地域パートナーとの協働など、持続可能な地域モデルの確立を進めています。

今後も、国内外へ持続可能な観光モデルを発信してまいります。

【本取組に関するお問合せ】

十山株式会社 総務部 中屋

電話 054-260-2245